

	<h1>志木三小だより</h1> <p>学校教育目標 やさしい子 考える子 丈夫な子</p>	志木市立志木第三小学校
		平成28年度 No 10
		平成29年1月10日
		志木市柏町3丁目2番1号
		TEL 048 - 471 - 1062
		児童数1月10日現在580名

穏やかな一年を願って 「凡事徹底」

校長 可知 良之

穏やかな元旦とともに2017年を迎えることができました。新年明けましておめでとうございます。本年も昨年同様どうぞよろしくお願いいたします。私は4月から本校に着任して以来、一貫して、学校づくりの中心に、この「穏やかな」という言葉を据えて進めております。穏やかさこそ今の学校に一番必要な要素であると思っていますからです。穏やかという言葉の意味を辞書で調べてみますと次のようになっています。

- ①静かで平穏無事なさま
- ②落ち着いていておとなしいさま
- ③やり方や考え方などが穏当であるさま
(デジタル大辞林より)

特に②番や③番は人柄としてそうありたいと自ら願うところです。

さて、こうした穏やかな学校であるためにとっても重要であると考えていることが5つあります。この5つは日本語をローマ字読みしたときに頭文字が全てS(サ行)で始まる言葉です。

まず、1つ目のSは、
整理 (Seiri) いるものといらないものを分け不要なものを捨てることです。これができるためには判断力が必要です。

2つ目のSは、
整頓 (Seiton) 必要なものを誰でも分かるように明示し、使いやすいようにきちんと置くことです。これは次に活用することを考える力(活用力)が求められます。

3つ目のSは、
清掃 (Seisou) 常に掃除をし、綺麗

にすることです。本校でも無言での清掃に取り組んでいます。話をしている暇がないほど真剣に掃除をする行動力や実行力が必要です。

そして、4つ目のSは、
清潔 (Seiketsu) 整理、整頓、清掃の3Sを維持することです。粘り強さと根気が必要です。何年経っても変わらない学校の風土がここから作られていきます。

最後のSは、
躰 (Shitsuke) 決められたことをいつも正しく守る習慣づけのことです。特に小学校ではこの躰が大事です。大勢の人たちが集まる場所では静かにする、履き物はきちんとそろえて脱ぐ、チャイムがなったら席に座って学習の準備をして待つなど、生活の躰、学習の躰がとても大事な生きる力となります。

今、企業でもこうした3つのSや5つのSを取り入れて経営を行っているとも聞きます。穏やかな学校であり穏やかな子どもたちであり続けるための5つのS、これらのSが当たり前のこととして子どもたち一人一人の凡事(ぼんじ)となるよう徹底(てっぺい)していきたい、年頭に当たりそのような願いや想いを込めて学校経営を進めて参ります。保護者の皆様、地域の皆様、ご支援ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

